

## 社 会

問題の作成に当たっては、中学校学習指導要領を基準として、次のような力をみることに留意しました。

- 日本及び世界の諸地域における地理的な特色を理解するとともに、地図や統計等の資料を用いて、地理的な見方や考え方を働かせて事象を考察し、まとめ、表現する力
  - 我が国の歴史の大きな流れを、諸外国とのかかわりや各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料を用いて、歴史的な事象を考察し、まとめ、表現する力
  - 我が国の政治、経済及び現代社会の諸課題について、その仕組みや働きを理解するとともに、現代社会の見方や考え方を働かせて事象を考察し、まとめ、表現する力
- 全体の平均点は58.3点となり、前回は1.9点下回りました。

〔1〕 世界の諸地域の多様性や国家規模の地域的特色の理解度と、世界の地理的認識の定着をみる観点で出題しました。大問全体の正答率は69.1%でした。

(1)は、地図に示された4つの地点の気温と降水量から特徴を読み取り、ロンドンを選択する問題です。(2)は、サウジアラビアで最も多く信仰されている「イスラム教」に関する問題です。(3)は、地図で示した国について述べた文を選択する問題です。いずれの問題も、自然及び社会的条件と関連付けて考察し、世界の人々の生活や多様性を理解することが必要です。(4)は、地図で示した4か国について、統計資料を活用しながら、各国の特徴をとらえる視点や方法が身に付いているかをみる問題で、正答率はaが68.0%、dが75.5%でした。様々な資料を的確に読み取ったり、地図を活用して事象を説明したりする学習活動をとおして、国や地域の特徴を追究し、地理的認識を深めることが大切です。

〔2〕 我が国の国土の認識について、近畿地方から東北地方を取り上げて、地図や統計資料をもとに考察する力をみる観点で出題しました。大問全体の正答率は61.2%でした。

(1)は、東京都とその近隣の県における昼間人口と夜間人口の表から、東京都において、昼間人口が夜間人口を大きく上回っている理由を考察する問題です。(3)は、統計資料から、特徴的なデータを読み取り、茨城県と和歌山県を特定した上で、地図上の位置を選択する問題です。日本地図を使って都道府県の名称と位置を確認するとともに、各県の特徴を、地理的な諸条件と関連付けて考察する学習活動が大切です。(4)は、地形図を読み取る技能を問う問題です。地図の読図など、地理的スキルを身に付けることができるよう系統性に留意して計画的に指導することが必要です。

〔3〕 古代から近世における各時代の政治や社会のようすについてまとめたカードをもとに、各時代の特徴などについて出題しました。大問全体の正答率は、56.0%でした。

(1)は、参勤交代の制度について説明する問題です。(2)は、カードの内容から奈良時代と判断し、この時代の文化の特色を選択する問題です。(4)は、カードの内容から鎌倉時代と判断し、この時代のできごとを選択する問題です。いずれも、歴史の学習全体をとおして、各時代の特徴を明らかにした上で、我が国の歴史の大きな流れをとらえることが大切です。(5)は、カードの内容から判断した時代をもとに、カードを年代の古い順に並べる問題です。正答率は76.2%でした。

〔4〕 明治時代以降の我が国のできごとに関する略年表をもとに、我が国の近現代の歴史を、世界の動きとの関わりを踏まえて考察する力をみる観点で出題しました。大問全体の正答率は61.8%でした。

(2)は、三国干渉について、できごとを原因、結果の視点で考察する、歴史的な思考力を問う問題です。(3)は、20世紀初頭に世界で起きたできごとを年代の古い順に並べる問題です。(4)は、米騒動が起こった背景を説明する問題です。近現代の歴史を学ぶ上では、我が国の歴史を、世界の動きとの関わりの中で理解できるようにすることが重要です。

〔5〕 公民的分野で取り扱う現代社会、政治、経済、国際社会の観点から出題しました。大問全体の正答率は52.3%でした。

(1)②は、物事を決めるときの考え方のうち、「効率」について述べた文を選ぶ問題です。現代社会をとらえる見方や考え方の基礎について、社会生活にみられる具体的な事例をあげて理解させることが大切です。正答率は84.8%でした。(2)は、国会・内閣・裁判所に関する問題です。①は、問題文と、国会の主な動きを示した表をもとに、常会（通常国会）、臨時会（臨時国会）、特別会（特別国会）を選択する問題です。②は、内閣の仕事を選択する問題です。③は、最高裁判所が「憲法の番人」と呼ばれている理由を説明する問題で、正答率は30.5%でした。(3)③は、日本銀行と政府の財政政策について、景気が過熱したときに、それぞれがどのような政策を行い、景気の安定を図るのかを問う問題です。経済に関する内容については、今日の経済活動に関する諸課題に着目し、主権者として、よりよい社会の構築に向けて、その課題を解決しようとする力を養うことが大切です。(4)①は、我が国の公害や環境保全に関する取組について問う問題です。②は、示した資料の内容から、国際的な枠組みの名称を答える問題です。地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力が大切であることを理解できるように指導することが大切です。

〔6〕 「世界の食料問題」について調べ学習をしていく中で集めた複数の資料をもとに、幅広い観点から出題しました。大問全体の正答率は50.3%でした。

(1)は、地域別の栄養不足人口の推移、地域別の人口の推移を示したグラフから、アフリカの人口の推移、栄養不足人口の割合と、他地域との比較について読み取る問題です。(2)は、2つの資料から、アフリカにおける米の需要、生産量と消費量の推移について読み取り、まとめて、文章で表現する問題です。現代の社会的事象に関する情報について、諸資料をもとに必要な情報を読み取ってまとめる技能を、日々の学習の中で育成する工夫が必要です。

全体的に、基本的事項の知識に関する問題や、地図やグラフ、写真等の資料を読み取って判断する問題の正答率が高くなりました。一方で、地理的分野における地域の産業の特徴を問う問題、歴史的分野におけるできごとの年代を正しく判断する問題、公民的分野における民主政治の仕組みについての知識を問う問題の正答率が低くなりました。

社会の学習では、基礎的・基本的な知識の定着を図りつつ、学習内容を深く理解することが大切です。また、諸資料から社会的事象に関する情報を調べてまとめることに加え、多面的・多角的に考察し、表現することを意識させる機会を増やすことが望まれます。